

結果表報告例

引張・曲げ・圧縮の3つのモードでの試験実施が可能です。
アウトプットの様式はほぼ同じです。
「ひずみ変化量」は全荷重負荷後の変化量のみとなります。

表1 引張クリープ試験(全荷重負荷後のひずみ変化量)

[材質：○○、形状：○○、チャック間距離：115mm]

試験温度 (°C)		※1温度につき最大6本(試験槽によっては3本) ※23±3(エアコン制御)~200±3 までの設定が可能です。					
試験応力 (MPa)		※10N~9800N までの設定が可能です。					
グラフ記載No.		A	B	C	D	E	F
試験幅 (mm)		xx.xx	xx.xx	xx.xx	xx.xx	xx.xx	xx.xx
試験厚 (mm)		x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
時間		全荷重負荷後のひずみ変化量 (%) ※試験開始初期の変形を含まない値					
min	hour						
1	0.017	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
2	0.033	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
3	0.05	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
6	0.1	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
12	0.2	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
18	0.3	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
30	0.5	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
42	0.7	x.xx	x.				x.xx
	1		x.				x.xx
	2		x.				x.xx
	3		x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	5			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	7			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	10			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	25			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	50	破断			x.xx	x.xx	x.xx
	75		試験機仕様 限界伸び 到達		x.xx	x.xx	x.xx
	100			破断	x.xx	x.xx	x.xx
	200				x.xx	x.xx	x.xx
	300				x.xx	x.xx	x.xx
	500				x.xx	x.xx	x.xx
	750				x.xx	x.xx	x.xx
	1000				破断	x.xx	x.xx

ご報告値は小数点2桁までとなります。
(小数点3桁までのご報告をご希望の場合は、
参考値扱いとなります。)

変位25mm程度が試験機仕様限界となります。
(ひずみとして何%となるかは試験モードと試料形状により
異なります。)

[備考]ひずみは差動トランスの計測値からチャック間距離の変化を求め、算出した。

試料に全荷重が負荷されて以後のクリープ量を記載した。

試料に実際に生じたであろう変形(ひずみ)値となります。
(実測値ではないので検証値という名称で取り扱いをしております。)

表2 引張クリープ試験(全ひずみ検証値)

[材質：〇〇、形状：〇〇、チャック間距離：115mm]

試料名		〇〇					
試験温度 (°C)		23±3(エアコン制御)~200±3					
試験応力 (MPa)		10N~9800N					
グラフ記載No.		A	B	C	D	E	F
試料幅 (mm)		xx.xx	xx.xx	xx.xx	xx.xx	xx.xx	xx.xx
試料厚 (mm)		x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
初期ひずみ検証値 (%)		x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
時間		全ひずみ検証値 (%) (全荷重負荷後の変化量+初期ひずみ検証値)					
min	hour						
1	0.017	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
2	0.033	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
3	0.05	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
6	0.1	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
12	0.2	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
18	0.3	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
30	0.5	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
42	0.7	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	1	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	2	破断	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	3		x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	5		試験機仕様 限界伸び 到達	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	7			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	10			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	25			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	50			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	75		破断	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	100			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	200			x.xx	x.xx	x.xx	x.xx
	300	x.xx		x.xx	x.xx	x.xx	
	500	x.xx		x.xx	x.xx	x.xx	
	750	破断	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	
	1000	破断	x.xx	x.xx	x.xx	x.xx	
終了時間 (hour)		0.x (xx min)	x.x	xx.x	xxx.x	破断せず ^a	破断せず ^a

万能材料試験機により約10秒以内に試験応力に到達するよう静的引張試験を実施し、その試験で得られた各応力でのひずみ値をひずみ値に足し合わせます。(測定は別途費用となります。)

[備考]表1のクリープ量に、別途万能材料試験機による初期ひずみ検証試験にて得られた検証値を加えたものを記載した。

[材質:**、形状:**形状、チャック間距離:** mm、試験温度:(**±3)°C]

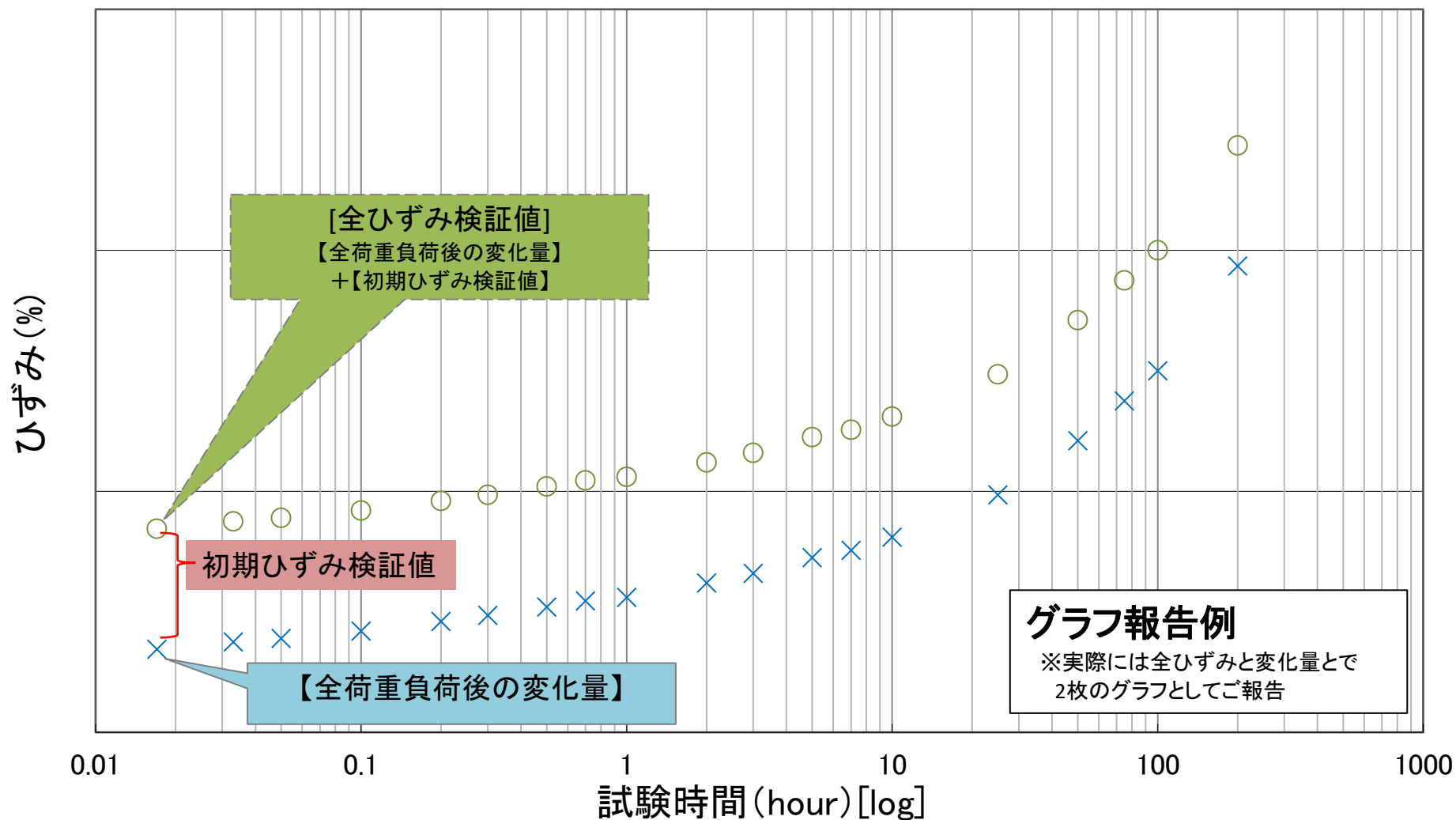


図1 クリープ試験 ひずみ-時間プロット図

[材質:**、形状:***形状、チャック間距離:** mm、試験温度:(**±3)°C]

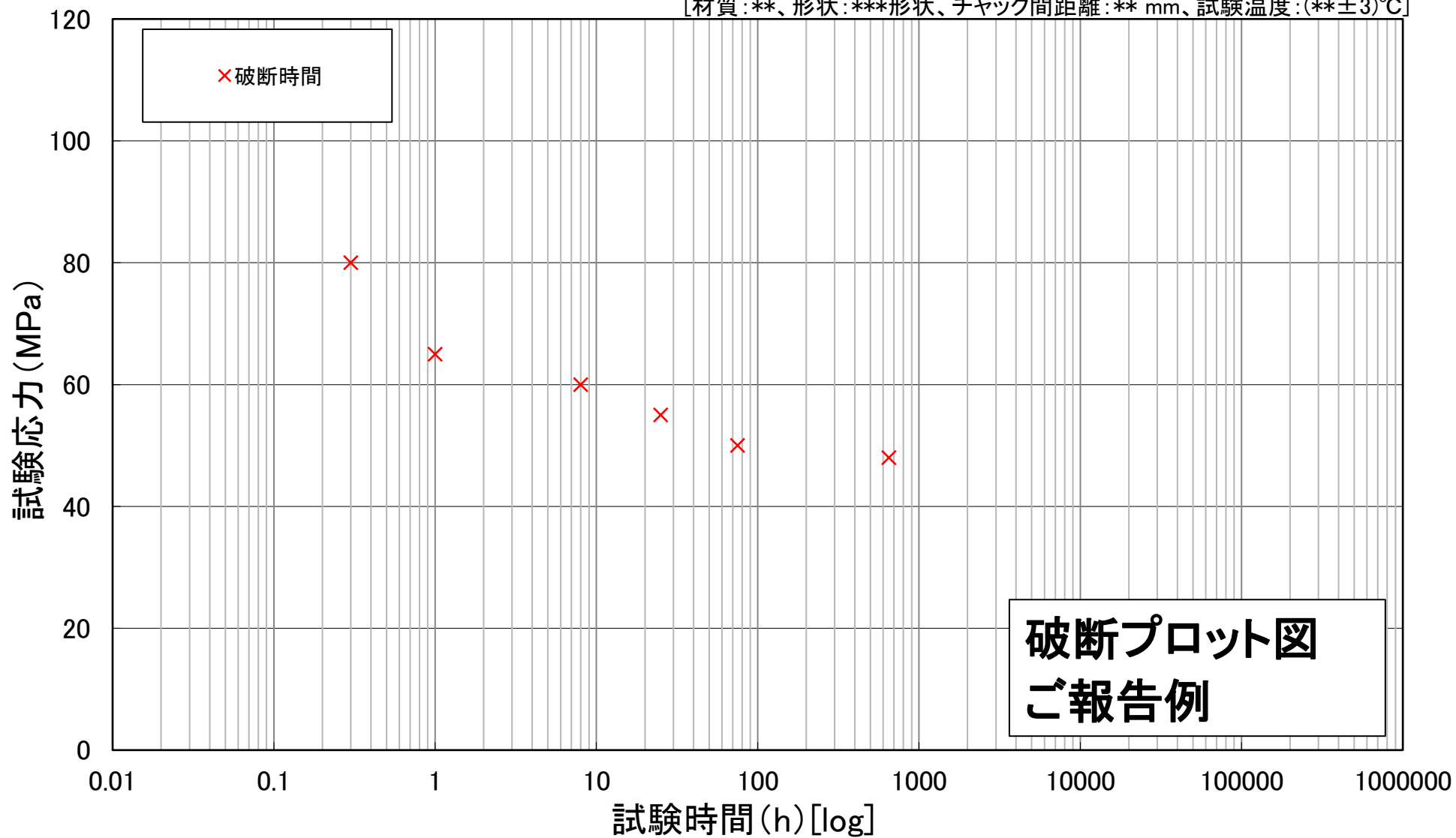


図2 クリープ試験 破断プロット図